

学園

「緑翠館」誕生

長い間「大学図書館」として親しまれた建物が、4月1日(月)大学図書館・田辺聖子文学館・しょういん子育て絵本館・くすのき健康栄養センターを併設、「緑翠館」として再出発することとなりました。

名称の由来は、大阪樟蔭女子大学の前身である樟蔭女子専門学校時代の同窓会の名称によるものです。



5月25日(土)『くすのき健康栄養フェア』を開催しました。

開設以来、管理栄養士による栄養相談や特定保健指導など、地域の方々の健康支援に取り組んできた「くすのき健康栄養センター」は、再オープンを機に5月25日『くすのき健康栄養フェア』を開催、地域の人々が多く訪れ、大盛況のうちに終了することができました。

大学

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定



文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」とは、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力(リテラシーレベル)や、課題を解決するための実践的な能力(応用基礎レベル)を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程(教育プログラム)を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。本学は、学士課程基幹教育の中に『AI・データサイエンス教育プログラム』を取り入れており、この度、申請を行い、審査の上、認定されました。

大学 | ライフプランニング学科

フードスタディコースの学生有志が、株式会社マルハニチロ北日本と協力して、国産イワシとニシンを用いた缶詰「北乃創彰(きたのそうさい)」シリーズを使った料理レシピを開発しました。

レシピ開発・試食会の様子はこちら

株式会社マルハニチロ北日本 公式サイト



高校

令和6年度高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)に採択

4月16日(火)、文部科学省から「令和6年度高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」の採択校が発表され、樟蔭高等学校が採択校の1つに選ばれました。

今後も、本事業の採択校にふさわしく、情報・数学等の教育を重視したカリキュラムの実施や、ICTを活用した文理横断的かつ探究的な学びの強化に努めてまいります。

高校 中学

日本現代作法会から「社会や地域において模範となる学校」として認定

4月1日(月)に、日本現代作法会から「社会や地域において模範となる学校」として、樟蔭中学校・高等学校が認定されました。講師の先生方から教わったことを実践し、今後も相手を思いやる心を育み、自立した立ち居振る舞いのできる女性を目指します。



大学 | 化粧ファッション学科

01 谷 明日香 准教授と学生有志が、関西で学ぶ大学生と研究者が連携、日本繊維機会学会 繊維リサイクル技術研究会主催「私たちのSDGs2023～繊維製品の循環をめざして」のイベントに参画しました。



- Part1：京都文化博物館
- Part2：なんばマルイ

02 学生有志が東大阪市消防局と協働し、廃棄予定の防火服・救助服・活動服を別の用途のものに作り替え、なおかつ付加価値を与える『アップサイクル』に挑戦、「HANAZONO EXPO 2023」(11月3日(金・祝)・4日(土))にてファッションショー、ワークショップをおこないました。



03 八尾市障がい者基本計画ワーキング会議とのコラボにより実現、生活デザイン研究室の学生がデザインを担当した八尾市オリジナルのコミュニケーションエコバッグが完成、2月17日(土)よりアリオ八尾(八尾市光町)にて販売しました。



大学 | 健康栄養学科

01 QOLK(コルク)プロジェクト

本プロジェクトは、学生が主体となりキャンパスライフの質向上に取り組み、地域の方々の健康サポートについて様々な取組みをおこなっています。

まちのお手伝いチーム



地域の高齢者の方々に楽しくフレイルについて理解してもらえるよう学生自ら創作劇「STOP! コロナフレイル」を制作、上演しました。

メニュー開発チーム

健康支援に取り組むカフェ「きららみらい星の子Cafe」とコラボ、考案したレシピを店舗メニューとして提供しました。



02 『Re:Shoinきずなとれいる』

井尻吉信教授のゼミ学生達が、地域在住高齢者が抱える人間関係の希薄化などの問題解決を目指し、様々なイベントを企画・運営をしていく取組みを行っています。



大阪に居ながら旅行を体験してもらう『旅行行こう(海外編)～豪華客船きずなとれ号～』



体を動かして楽しく地域交流『集まれ永和校区!! Summerボウリング大会』

03 木村 明美 准教授と学生有志が、食育に関する理解と関心を深め、食育の取組への積極的な参加を促すことを目的として大阪府等主催『食育ワクワクEXPO』のイベントに参加しました。

- 食育ワクワクEXPO (阪急百貨店うめだ本店)
- ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会(大阪南港 ATCホール)

04 上田 由香理 講師と学生有志が、近畿大学食品ロス削減プロジェクト(C.S.S)と連携して、本門佛立宗本泉寺(東大阪市若江東町)で「こどもおえしき(夏祭り)～本泉寺×近畿大学C.S.S×大阪樟蔭女子大学SDGs食育クッキング～」イベントを実施しました。



高校 中学

樟蔭中学校・高等学校は、「第14回 身体表現コースクラブ発表会」を開催しました。

さる4月14日(日)東大阪市文化創造館にて、「第14回 身体表現コースクラブ発表会」を開催しました。本コースは、2011年樟蔭中学校に開設以来、自分の身体的パフォーマンスを磨くだけでなく、自己を表現する方法を学ぶことと同時に、他者の表現を受け入れる共感能力を育てることに繋がるとして、身体を使った自己表現を中心にさまざまな表現方法に挑戦してきました。

この発表会は、新体操・ダンス・バントワーリング・ボンボンチアといった身体表現系の部活動に所属する生徒が、本格的な演技(演奏はありません)を披露する発表会で、当日は満員御礼の中、学業と部活動を両立したパフォーマンスに盛大な拍手に包まれ、無事に幕を下ろすことが出来ました。

身体表現コースクラブの体験レッスンも盛況で、随時受け付けております。



大学 第74回 くすのき祭

開催日時 2024年10月26日(土) 10:00~17:00
2024年10月27日(日) 10:00~16:00

テーマ：memory ～記憶と記録をつなぐ青春の1ページ～

このテーマは、「頭の中に残る記憶」と「写真や動画として残る記録」をイメージしました。「記憶」と「記録」、この2つをつなぎ合わせて子どもから大人まで来場者の皆様にとって忘れられない思い出の1ページとなるようにという想いが込められています。また、私たちくすのき祭実行委員会や参加団体の学生の皆さんが一丸となって準備を進め、大変だったことも楽しい思い出だった、青春だったと思うようなくすのき祭にしたいと思い、このテーマに決定しました。

※写真はイメージです。



高校 中学 若葉祭 (体育祭・文化祭)

体育祭概要 2024年9月18日(水)



文化祭概要 2024年9月26日(木) 校内
2024年9月28日(土) 一般公開



※入場制限あり。詳しくは中高幼事務局(TEL:06-6723-8185)へご連絡ください。

先生、学生のご活躍

学生

- ◆大阪樟蔭女子大学 卓球部
9月12日「令和5年関西学生卓球秋季リーグ戦」にて3部リーグ優勝、2部リーグに昇格。

- ★化粧ファッション学科3年生の さん
門真市 市制施行60周年記念ナンバープレートのデザイン(原動機付自転車)に採用。

- 『第28回全日本高校・大学生書道展』
【書道展賞】★国文学科4年生の さん
【優秀賞】★国文学科2年生の さん ★国文学科1年生の さん

先生

- ★心理学科・大学院臨床心理学専攻の坂田 浩之教授
MBT-Cプラクティショナーに認定。

- ★健康栄養学科長の鈴木 朋子教授
全国栄養士養成施設協会会長顕彰を受賞。

- ★児童教育学科の豊島 久美子教授
Frontiers in Cognition誌「Research Topic」(Research Topic Editor) 採択
テーマ:「Music and Pro-sociality」音楽と向社会性

- ★健康栄養学科の青 未空講師
日本ビタミン学会第76回大会『ヒューマンニュートリションアワード』を受賞。
発表演題「胃粘膜萎縮の程度とビタミンB12栄養状態との関連」

中学校
高等学校

クラブ活動・受賞報告

期間：2023年7月～2024年6月

■ボンボンチア

- JAPAN CUPマーチングバンド・バントワーリング全国大会(8/25-26)
<中学>ジュニアボンボン部門 2位
<高校>高校団体ボンボン部門 優勝
- 令和5年度ダンスドリル秋季競技大会 関西大会(10/27)
<中学>DRILL POM部門 優勝
<高校>DRILL POM部門 2位
- Dance Drill Winter Cup 2024(1/14-15)
<中学>DRILL POM部門 優勝
<高校>DRILL POM部門 2位

■バントワーリング

- 2023年IBTF世界バントワーリング選手権大会(8/10)
スリーバトン 女子ユース 2位
・ (中学1年)
- JAPAN CUPマーチングバンド・バントワーリング全国大会(8/25-26)
<中学>
全国中学校バントワーリング選抜大会部門 優勝
<高校>
高校団体バントワーリング部門 優勝
- 第51回バントワーリング全国大会(12/9)
<中学>学校部門(中学) 金賞・最優秀賞
- 2024年IBTF世界フリースタイル選手権大会日本代表選考会(3/22)
フリースタイルチーム (日本代表)
・ (高校2年)
・ (高校1年)
フリースタイル個人 女子ジュニア(日本代表:現地控え)
・ (高校1年)

■バスケットボール

- 第77回大阪中学校選手権大会(7/30)
優勝
- 第53回全国中学校バスケットボール大会出場(8/22-24)
- 第4回全国U15バスケットボール選手権大会出場(1/4-8)
- 令和5年度第77回大阪中学校総合体育大会バスケットボールの部(2/23)
優勝

■ダンス

- 第1回 JUNIOR HIGH SCHOOL
ダンスコンテスト[DANCE OF UNITE](7/16)
<中学>準優勝
- 第13回 ダンスガラOSAKA(3/27)
<中学・高校>創作部門 優秀賞
- 第35回 全日本高校・大学
ダンスフェスティバル(神戸)(8/9)
<高校>NHK賞
- DANCE CLUB CHAMPIONSHIP vol.11(8/24)
優勝

■剣道部

- 剣道段位審査会(10/9)
二段合格 (高校1年)
- 剣道段位審査会(1/13)
二段合格 (高校2年)

■吹奏楽

- 第62回 大阪府吹奏楽コンクール 中区大会(7/26)
高等学校の部 小編成 金賞

■美術工芸

- 第72回 大阪私学美術展(7/31)
・中学部門 優秀賞 (中学3年)
・イラスト部門 優秀賞 (高校1年)
・工芸部門 優秀賞 (高校1年)

■ソフトボール部

- 第56回東大阪市ソフトボール部大会(高校女子の部)(7/24)
<高校>優勝

■ソフトテニス

- 第16回中河内インドアソフトテニス大会(10/7)
・優勝 (中学2年)・ (中学2年)
- 第16回中河内インドアソフトテニス大会(10/9)
<中学>優勝
- 第32回中河内中学校秋季ソフトテニス大会(10/28)
<中学>優勝

■体操

- 大阪選手権 1部(7/25)
<中学>女子団体総合 2位
個人種目別 跳馬 2位
・ (中学1年)
- 大阪中学校総合体育大会(10/28)
<中学>団体総合 2位
個人種目別 跳馬 2位
・ (中学1年)
- 大阪高校 新人大会(10/29)
<高校>2部 女子個人総合 2位
2部女子種目別 段違い平行棒と平均台 各優勝
・ (高校1年)

■新体操

- 大阪高校総合体育大会(9/3)
<高校>2位

■テコンドー

- OCジュニアオリンピックカップ
第16回全日本ジュニアテコンドー選手権大会(7/29-30)
<高校>女子 -44kg級 3位
・ (高校1年)
- 大阪府テコンドー選手権(上級)(1/28)
<高校>女子 -46kg級 1位
・ (高校1年)

■書道

- 第91回 全国書画展覧会(9/1)
書写の部 金賞
・ (中学3年)
・ (中学3年)
- 第73回 全国書道コンクール(9/15)
【毛筆】高校部
特選
・ (高校3年)
金賞
・ (高校2年)
・ (高校2年)
- 第70回 日本学書展(11/19)
漢字部 準特選
・ (高校3年)
・ (高校3年)
・ (高校1年)

■AGG(新体操部個人参加)

- Four Continents Championships,
Four Continents Trophy
(四大陸選手権)(11/23-24)
・Team SHOIN PHOENIX 優勝
- AGG Japan Cup 2024(2024年3月23日)
ジュニア ショート
・Ludens Shoin 優勝
シニア ショート
・Team Shoin Mine 優勝
ジュニア
・Team Shoin 優勝
シニア
・Team Shoin Phoenix 優勝

※学年は受賞当時のものです。 ※誌面の都合上、抜粋してお届けしております。詳細は、公式サイトをご覧ください。

学校法人樟蔭学園の2023(令和5)年度の決算概要

学校法人樟蔭学園の2023年度(令和5年度)の決算について、「資金収支計算書」「活動区分資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」それぞれの概略を、「学校法人会計の概要」説明を含め報告いたします。

なお、樟蔭学園のホームページにおいても、財務状況について開示しております。 <https://www.osaka-shoin.ac.jp/disclosure/finance/>

(1)学校法人会計の概要

「資金収支計算書」は、当該会計年度(4月1日～3月31日)の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにします。

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を、3つの活動(教育活動・施設整備等活動・その他の活動)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにします。

教育活動による資金収支により、キャッシュベースでの本業である教育活動の収支状況を見ることができ、施設整備等活動による資金収支により、当該年度に施設設備の投資が行われたか、その財源はどうであったかを見ることができます。その他の活動による資金収支では、借入金の収支・資金運用の状況等主に財務活動を見ることができず。

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度の活動(教育活動・教育活動外・特別)に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の均衡の状態を明らかにします。また、基本金組入後の収支状況に加えて、基本金組入前の収支状況も表示します。

事業活動収入は、学校法人に帰属する負債とならない収入をいい、事業活動支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における用役の対価等になります。

(2)決算の概要

1.資金収支計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで) (単位:千円)				
科 目	2023年度予算額	2023年度決算額	差 異	備 考
収入の部				
学生生徒等納付金収入	3,205,764	3,192,035	13,729	
手数料収入	24,341	24,875	△ 534	
寄付金収入	41,263	42,445	△ 1,182	
補助金収入	824,856	839,868	△ 15,012	
資産売却収入	309,761	309,792	△ 31	
付随事業・収益事業収入	25,364	23,768	1,596	
受取利息・配当金収入	58,190	58,189	1	
雑収入	126,690	128,244	△ 1,554	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	178,884	178,767	117	
その他の収入	389,231	395,838	△ 6,607	
資金収入調整勘定	△ 310,009	△ 314,044	4,035	
前年度繰越支払資金	1,067,952	1,067,952		
収入の部合計	5,942,287	5,947,730	△ 5,443	
支出の部				
人件費支出	2,461,599	2,446,667	14,932	
教育研究経費支出	1,155,060	1,124,317	30,743	
管理経費支出	241,701	223,552	18,149	
借入金等返済支出	211,110	211,110	0	
施設関係支出	172,426	165,966	6,460	
設備関係支出	34,647	34,287	361	
資産運用支出	627,901	627,901	0	
その他の支出	241,415	240,917	498	
予備費	(47,383)	32,617	32,617	
資金支出調整勘定	△ 210,305	△ 217,462	7,157	
翌年度繰越支払資金	962,227	1,078,586	△ 116,359	
支出の部合計	5,942,287	5,947,730	△ 5,443	

注)千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

資金収支計算書(予算との対比)の主な内容は、次のとおりです。

【資金収入の部】
主に、寄付金収入、補助金収入、雑収入、その他の収入等において見込みより増額、学生生徒等納付金収入、付随事業・収益事業収入、資金収入調整勘定等において見込みより減額となりました。資金収入の部は、見込みより5,443千円増額の4,879,778千円となり、前年度繰越支払資金を含めた資金収入の部としては5,947,730千円となりました。

【資金支出の部】
主に、予備費を含め人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出、資金支出調整勘定等において見込みより減額となりました。資金支出の部としては、翌年度繰越支払資金を除き見込みより110,916千円減額(4,869,144千円)となりました。

【翌年度繰越支払資金】
上記の結果、翌年度繰越支払資金は1,078,586千円となりました。

事業活動収支において、経常的な収支バランスを表す「教育活動収支」と「教育活動外収支」、臨時的な収支バランスを表す「特別収支」が設定されており、当年度の収支バランスの改善又は悪化の原因が経常的なものか、その年度限りの臨時的な要素によるものか判断できます。

事業活動収入から事業活動支出を控除した額(基本金組入前当年度収支差額)から、固定資産を取得するための支出や積立金などで構成される基本金組入額を控除して、当該会計年度の収支の均衡状態を「当年度収支差額」で表します。

「貸借対照表」は、学校法人の資産・負債・純財産(正味財産)を把握し、財政状態を明らかにした、長期的な運営の方向性を決めるための財務諸表です。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度ごとの状況を表す一方、貸借対照表は、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。企業会計と同じく、借方に資産、貸方に負債・純資産を計上し、企業会計の貸借対照表と構造は似ています。

学校法人の収支状況を見るには、事業活動収支計算書の「基本金組入前当年度収支差額」に注目します。

この収支差額とは、事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもので、企業会計でいう収益から費用を差し引いた利益に相当するものであります。

しかし、学校法人は一般の企業に比べ極めて公共性が高く、安定した経営を維持して行く必要があるため、この

利益は利潤ではなく、学校の施設設備等の取得財源や借入金の返済財源となるものです。つまり、基本金組入前当年度収支差額によって、当該年度の施設設備等の充実、借入金返済、将来の施設設備の更新等のための引当特定資産等の充実に行われることとなります。

そして、学校法人会計基準は、その財源(学校法人を継続的に維持すべき財源)に充当すべき額を基本金とし、事業活動支出に充てる前の事業活動収入のうちから控除して組入れる(確保する)こととなっています。

基本金組入前当年度収支差額がプラスの場合は、当該年度において自己資金が確保されていることを表し、マイナスの場合は、事業活動収入で事業活動支出を賄えない状態であり、基本的には過年度において蓄積された自己資金を食い潰すか、借金をしない限り経営が成り立たないことを示しています。

ただ、収支状況は単年度のみを見るだけでは判断出来ませんので、過去数年間の傾向や今後の収支の予測を考慮する必要があります。

一般の企業の経営が利益追求を目的としているのに対して、学校法人の経営は長期安定的に教育・研究活動を継続することに主眼がおかれています。学校法人の財務諸表は、学校が、教育・研究活動の質的向上を図りながら、いかに安定的な余裕資金を維持し、資産を形成しているかという視点で見ることが重要であります。

2.活動区分資金収支計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで) (単位:千円)				
科 目	2023年度決算額	備 考		
教育活動による資金収支	学生生徒等納付金収入	3,192,035		
	手数料収入	24,875		
	特別寄付金収入	28,664	施設設備寄付金除く	
	一般寄付金収入	7,833		
	経常費等補助金収入	839,868	施設設備補助金除く	
	入付随事業収入	23,768		
	雑収入	128,244		
	教育活動資金収入計	4,245,286		
	人件費支出	2,446,667		
	教育研究経費支出	1,124,317		
施設整備等活動による資金収支	管理経費支出	223,552		
	教育活動資金支出計	3,794,536		
	差 引	450,751		
	調整勘定等	△ 13,266	前受金、未収入金、未払金、前払金	
	教育活動資金収支差額	437,485		
	施設設備寄付金収入	5,948	施設設備以外への寄付金除く	
	施設設備売却収入	30		
	引当特定資産取崩収入	200,000		
	施設整備等活動資金収入計	205,978		
	施設関係支出	165,966		
その他の活動による資金収支	設備関係支出	34,287		
	引当特定資産繰入支出	279,835		
	施設整備等活動資金支出計	480,088		
	差 引	△ 274,109		
	調整勘定等	44	前受金	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 274,065		
	小計(教育活動+施設整備)	163,419		
	活動資金収支差額			
	有価証券売却収入	309,762		
	引当特定資産取崩収入	66,489		
その他の活動による資金収支	小計	376,250		
	受取利息・配当金収入	58,189		
	その他の活動資金収入計	434,440		
	借入金等返済支出	211,110		
	有価証券購入支出	300,000		
	引当特定資産繰入支出	48,066		
	貸付金支払支出 その他	16,139		
	小計	575,315		
	借入金等利息支出	11,889		
	その他の活動資金支出計	587,204		
その他の活動による資金収支	差 引	△ 152,764		
	調整勘定等	△ 21	未払金	
	その他の活動資金収支差額	△ 152,785		
	支払資金増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	10,634		

注)千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

3.事業活動収支計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	2023年度予算額	2023年度決算額	増 減	備 考
教育活動収支	学生生徒等納付金	3,205,764	3,192,035	13,729
	手数料	24,341	24,875	△ 534
	寄付金	35,315	36,496	△ 1,181
	経常費等補助金	824,856	839,868	△ 15,012
	入付随事業収入	25,364	23,768	1,596
	雑収入	127,300	128,276	△ 976
	教育活動収入計	4,242,940	4,245,318	△ 2,378
	人件費	2,404,728	2,389,310	15,418
	教育研究経費	1,960,898	1,929,998	30,900
	管理経費	302,726	284,576	18,149
教育活動外収支	徴収不能額等	6,631	6,631	0
	教育活動支出計	4,674,983	4,610,515	64,467
	教育活動収支差額	△ 432,043	△ 365,197	△ 66,845
	受取利息・配当金	58,190	58,189	1
	教育活動外収入計	58,190	58,189	1
	借入金等利息	11,889	11,889	0
	教育活動外支出計	11,889	11,889	0
	教育活動外収支差額	46,301	46,300	1
	経常収支差額	△ 385,742	△ 318,897	△ 66,845
	収入	0	30	△ 30
特別収支	その他の特別収入	6,981	7,121	△ 140
	特別収入計	6,981	7,151	△ 170
	資産処分差額	240,663	132,144	108,519
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	240,663	132,144	108,519
	特別収支差額	△ 233,682	△ 124,993	△ 108,689
	(12,100)			
	【予備費】	67,900		67,900
	基本金組入前当年度収支差額	△ 687,324	△ 443,890	△ 243,434
	基本金組入額合計	△ 75,722	△ 182,808	107,086
特別収支	当年度収支差額	△ 763,046	△ 626,698	△ 136,348
	前年度繰越収支差額	△ 15,889,607	△ 15,889,607	0
	基本金取崩額	3,300	0	3,300
	翌年度繰越収支差額	△ 16,649,353	△ 16,516,304	△ 133,048

(参考)			
事業活動収入計	4,308,111	4,310,658	△ 2,547
事業活動支出計	4,995,435	4,754,548	240,887

注)千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

事業活動収支計算書(予算との対比)の主な内容は、次のとおりです。

【経常収支】
教育活動収入は、主に、寄付金、経常費等補助金等において見込みより増額となり、全体で2,378千円増額となりました。教育活動支出は、人件費、教育研究経費、管理経費において見込みより減額となり全体で64,467千円減額となりました。教育活動外収入及び教育活動外支出は、ほぼ計画通りとなりました。
結果、経常収支差額において見込みより66,845千円改善し△318,897千円となりました。

【特別収支】
特別収入は、資産売却差額、その他の特別収入において見込みより増額となり全体で170千円増額となりました。特別支出は、資産処分差額において見込みより減額となり全体で108,519千円減額となりました。

【基本金組入前当年度収支差額】
以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は、予算対比243,434千円改善し△443,890千円となりました。

学校法人樟蔭学園 2023(令和5)年度 財務比率

1. 活動区分資金収支計算書関係比率 (単位: %)			
比 率 名	算 式	2023年度	
経 営 判 断	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 / 教育活動資金収入計	10.3

○教育活動資金収支差額比率…学校法人における本業となる「教育活動」でキャッシュフローが生み出しているかを測る比率です。
この比率はプラスであることが望ましいですが、「その他活動」でキャッシュフローを生み出し、教育研究活動の継続することにより主眼がおかれています。学校法人の収支状況併せて確認する必要があります。

2. 事業活動収支計算書関係比率 (単位: %)			
比 率 名	算 式	2023年度	
経 営 状 況	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	-10.3
収入 構 成	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	74.2
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 / 経常収入	0.8
支 出 構 成	人件費比率	人件費 / 経常収入	55.6
	教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	44.8
	管理経費比率	管理経費 / 経常収入	6.6
	借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	0.3
収 支 バ ラ ンス	基本金組入額 / 事業活動収入	基本金組入額 / 事業活動収入	4.2
	人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	74.9
	経常収支差額比率	経常収支差額 / 経常収入	-7.4

【経営状況】
○事業活動収支差額比率…この比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面での得的な余裕につながるものとなります。

【収入構成】
○学生生徒等納付金比率…学生生徒等納付金は、学生生徒等の増減並びに納付金の水準の高低の影響をうけますが、学校法人の帰属収入のなかで最大の割合を占めており、補助金や寄付金に比べて外部要因に影響されることの少ない重要な自己財源であることから、この比率が安定的に推移することが望ましいです。

○経 常 寄 付 金 比 率…寄付金比率につき、施設設備寄付金を除く経常的な要素に限定した比率です。

○経 常 補 助 金 比 率…補助金比率につき、施設設備補助金を除く経常的な要素に限定した比率です。

【支出構成】
○人 件 費 比 率…人件費は、学校における最大の支出要素となり、この比率が適正水準を超えるとか経常収支の悪化に繋がる要因ともなります。

○教育研究経費比率…この経費は、教育研究活動の維持・充実のためには不可欠なものとなり、この比率も収支均衡を失しない範囲内で高くするのが望ましいです。

○管 理 経 費 比 率…この経費は、教育研究活動以外の目的で支出される経費となり、学校法人の運営のため、ある程度の支出は止むを得ないものの、比率としては低い方が望ましいです。

○借入金等利息比率…この比率は、学校法人の借入金等の額及び借入条件等によって影響を受け、貸借対照表の負債状況が事業活動収支計算書にも反映しているため、学校法人の財務を分析する上重要な財務比率の一つです。

○収 入 基 本 組 入 率…学校法人の諸活動に不可欠な資産の充実のためには、この基本金への組入が安定的に行われることが望ましいです。

【収支バランス】
○人 件 費 依 存 率…この比率は、人件費比率及び学生生徒等納付金比率の状況にも影響され、一般的に人件費は学生生徒等納付金で賄える範囲内に収まっている(比率が100%を超えない)ことが理想的です。

○基本金組入後収支比率…この比率が100%を超えると、事業活動支出が基本金組入後の事業活動収入を上回る支出超過(赤字)となり、100%未満であると収入超過(黒字)となります。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられますが、事業活動収支を基幹として資金循環を図ることを計画するならば、低い値ほど目的に達することになります。

○経常収支差額比率…「教育活動」及び「教育活動外」の経常的な収支バランスを表す比率です。

4.貸借対照表 (2024年3月31日現在) (単位:千円)

科 目	2023年度決算額	2022年度決算額	増 減	備 考
資 産 の 部				
固 定 資 産	17,999,250	18,637,451	△ 638,201	
有形固定資産	15,515,645	16,300,262	△ 784,617	
特定資産	2,199,263	2,137,067	62,196	
その他の固定資産	284,342	200,123	84,220	
流 動 資 産	1,815,718	1,938,287	△ 122,569	
資産の部合計	19,814,968	20,575,738	△ 760,770	
負 債 の 部				
固 定 負 債	3,793,818	4,062,285	△ 268,467	
流 動 負 債	733,721	782,134	△ 48,413	
負債の部合計	4,527,539	4,844,419	△ 316,880	
純 資 産 の 部				
基 本 金	31,803,733	31,620,926	182,808	
1号基本金	31,475,733	31,292,926	182,808	
4号基本金	328,000	328,000	0	
繰越収支差額	△ 16,516,304	△ 15,889,607	△ 626,698	
翌年度繰越収支差額	△ 16,516,304	△ 15,889,607	△ 626,698	
純資産の部合計	15,287,429	15,731,319	△ 443,890	
負債及び純資産の部合計	19,814,968	20,575,738	△ 760,770	
減価償却額の累計額の合計	16,735,991	15,966,824	769,167	
基本金未組入額	711,376	922,486	△ 211,110	

注)千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

貸借対照表の主な内容は、次のとおりです。

【資産の部】
有形固定資産 ……当年度における、減価償却額の増額により減額。
特定資産 ……主に、減価償却引当特定資産の増額による増額。
その他の固定資産 ……主に、有価証券等の増額による増額。
流動資産 ……主に、有価証券等の減額による減額。
【

本学園の建学の精神に対して深い理解を示してくださるファミリーに該当される子女を募集します。この機会にぜひご検討ください。

大阪樟蔭女子大学

総合型選抜(Ⅰ期～Ⅲ期、自己推薦入試(基礎学力型)A・B・C)においてファミリー優遇制度を導入します！
ただしファミリー優遇制度を利用する場合は専願となります。

対象	ご家族(受験者から1～3親等以内)のいずれかが、本学園の卒業生・在校生の親族*であること ※樟蔭学園の女子専門学校、大学、大学院、別科、短期大学(短期大学部)、高等学校、中学校を卒業(修了)または在籍している方
特典	入学金の半額を減免します。

※出願する際には、必ず大学入試広報課にお問合せください。

樟蔭高等学校・樟蔭中学校

対象	ご家族(受験者から1～4親等以内)のいずれかが、本学園の卒業生・在校生の親族*であること ※樟蔭学園の女子専門学校、大学、大学院、別科、短期大学(短期大学部)、高等学校、中学校を卒業(修了)または在籍している方
特典	「入学金」を半額支給します。

※出願する際には、必ず中高事務室にお問合せください。

◆大阪樟蔭女子大学附属幼稚園にもファミリー入園制度があります◆

入園希望の園児の保護者等が樟蔭学園の諸学校を卒業(修了)等している場合*、入園金の半額を奨学金として支給します。詳しくは、幼稚園までお問い合わせください。
※樟蔭学園の女子専門学校、大学、大学院、別科、短期大学、高校、中学、附属幼稚園のいずれかを卒業(修了)または在学、在園者で、入園希望児の1～4親等内の親族の方々が対象。

2024年度 大学入試イベント

開催日程

事前予約制

8.10 SAT・11.18 SUN

夏のオープンキャンパス

SHOIN夏祭り

その他、入試対策講座・学校見学も用意しております。
詳細はホームページをご覧ください。



2024年度中学校・高等学校入試イベント

学校説明会

高校 7.20 SAT・11.10 SUN

オープンスクール

高校 10.19 SAT

SHOIN SUMMER FESTA

中高合同 8.24 SAT

入試説明会

中学 9.14 SAT

プレテスト

中学 10.12 SAT・11.17 SUN

プレテストⅠ解説会

中学 11.2 SAT

その他、入試対策講座・学校見学も用意しております。
詳細はホームページをご覧ください。

高校



中学



大阪樟蔭女子大学附属 樟蔭幼稚園

幼稚園入園を控えた方を対象に、幼稚園の保育方針やこだわり、幼稚園の雰囲気などをお伝えします。この機会に、ぜひご参加ください。

入園説明会

2024年8月31日(土)・9月4日(水)

入園に関する説明はもちろん、在園児保護者の方にも語っていただきます。また、園内見学も行います。

体験保育会

2024年8月24日(土)・9月9日(月)

実際に幼稚園での遊び(遊戯室・園庭)を体験していただきます。



FORUM

新任教職員のご紹介 ※任期付含む

【2024.4.1付】

【大学】

学芸学部 国文学科 准教授……………古川 綾子
学芸学部 心理学科 教授……………永野 光朗
学芸学部 心理学科 准教授……………加藤 奈奈子
学芸学部 ライフプランニング学科 教授…中川 明子
学芸学部 ライフプランニング学科 准教授…久島 桃代
児童教育学部 児童教育学科 准教授…………丸山 磨美
児童教育学部 児童教育学科 准教授…………来栖 史江
児童教育学部 児童教育学科 准教授…………栗川 直子
健康栄養学部 健康栄養学科 准教授…………林 直哉

【高等学校・中学校】

国語科 常勤講師……………田中 純子
国語科 常勤講師……………藤原 萌
社会科 常勤講師……………渡邊 知華
数学科 常勤講師……………中村 紺津紀
体育科 常勤講師……………小坂谷 ゆき乃

【幼稚園】

教諭……………奥山 雅
専任講師……………笹田 麻理子
専任講師……………塚本 久子

【事務職員】

学生支援課(保健室)係長……………石 喜代美
[2024.6.1:入職]
経営企画課係員……………森 正憲
[2024.4.1:入職、2024.7.1:配属]
修学支援課係員……………楠本 真理子
修学支援課係員……………黒川 望
キャリアセンター係員……………高松 彩萌
学生支援課係員……………戸倉 寧々
入試広報課係員……………中西 結香
入試広報課係員……………丸澤 礼奈
(順不同)

退職者

【大学／教員】

(2024.3.31)
上杉 敏行
大土 恵子
黒川 麻実
兒島 尚子
佐藤 静
下温湯 まゆみ
神田 恵未
根本 眞弓
野田 実希
萩原 雅也
福本 哲也
水口 陽子
三輪 孝士
森 繁男

【高等学校・中学校／教員】

(2024.3.31)
相馬 安至
中西 宏実
立部 早智子

【幼稚園／教員】

(2024.3.31)
豊田 朱梨亜
松本 麻友子

【事務職員】

(2023.9.30)
プラス ボロナ
(2023.12.31)
辻 敬子
杉中 照代
(2024.2.1)
宮辻 幸仁
(2024.2.29)
大西 真
(2024.3.31)
石井 美香

※再雇用、雇用延長、雇用形態変更は含まない

訃報

心より哀悼の意を表します

樟蔭女子短期大学
人間関係科 教員
橘 忠司先生

樟蔭中高教諭
(体育)
中村 喜則先生

大阪樟蔭女子大学
健康栄養学部 健康栄養学科
松田 美久子先生

寄付金 御礼

この度、多くの皆様から寄付へのご応募を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。
皆様からのあたたかいご支援を励みに、教職員一同で今後ともより良い学園づくりに努めて参ります。

●寄付者のご芳名(敬称略・順不同)

※2023年7月16日～2024年7月15日までに寄付いただいた方を掲載しています。以降につきましては、次回号に掲載予定です。

【高額寄付者】 団体・企業 ・樟蔭エンタープライズ株式会社	唐原 しのり 川口 裕子 川南 由紀 木藤 美耶子 木村 敬子 楠 幸子 栗川 敬子 作田 英子 下川 勢津子 高木 晃子 田原 宏美 玉井 恵美子 父川 佳永子 築山 尚世 中造 智恵子 西野 博子 野田 圭子 野場 操 野村 勝子 長谷川 信江 林 恵子	しほり 裕子 由紀 美耶子 敬子 幸子 敬子 英子 勢津子 晃子 宏美 恵美子 佳永子 尚世 智恵子 博子 圭子 操 勝子 信江 恵子	平野 知子 船木 陽子 本間 一栄 三木 弘恵 水野 美津子 宮井 久美子 宮本 洋子 村上 佳子 森 ちか子 森川 彌生 八木 由美 安江 育代 安田 健一 山川 和子 山本 せつ子 行森 文子 吉田 博子 吉田 光子 匿名32名	大学・高校・中学・幼稚園 保護者 浅井 篤 池田 奈津子 石井 剛 伊藤 祐 伊吹 悟 上田 誠一 大槻 奈美 岡本 明信 小倉 征人 小田 健一 勝見 篤嗣 金城 隆富 加納 紀人 坂上 美樹 佐野 達 塩田 三智子 高橋 晃	竹本 潤 田中 雄一郎 谷口 創 谷野 浩之 永田 亮介 西中 煥子 西野 由樹 新田 裕子 橋本 利加 廣瀬 敏隆 増田 勝 増田 有己彦 村上 敦 本江 良祐 盛 真一郎 森本 智里 吉田 弘将 匿名2名	在学生 別所 めぐみ 団体・企業 ・グリコ栄養食品株式会社 ・樟蔭同窓会 その他 石水 君恵 北川 昌彰 匿名2名 現旧 役員・教職員 神林 信之 北村 英子 田中 恵美子 中西 香代子 早塚 一男
-------------------------------------	---	---	--	---	---	---

学園を
支えてくださる
皆様へ

樟蔭学園が次世代にも誇れる学園として更なる飛躍を遂げるため、皆様からの温かいご支援をお願いいたしたく、寄付金にご協力くださいますようお願い申し上げます。また、「リサイクル募金」も行っております。
詳細は同封の用紙をご覧ください。寄付制度の詳細につきましては、学園広報課へお問い合わせください。

●問い合わせ窓口 ●学園広報課 TEL: 06-6723-8152 FAX: 06-6723-8263

卒業生現況調査へのご協力をお願い

樟蔭学園報「くすのき」をご覧くださいまして、ありがとうございます。樟蔭学園では、学園各校を卒業された皆さまの状況をお聞かせいただくとともに、ご意見をもとに今後の学園運営の参考にさせていただきたいと考えております。つきましては、QRコードをスマートフォンで読み込んでいただき、表示されるアンケートにご回答ください。お名前・ご住所等の変更についても、こちらのメールフォームにて対応いたします。
最後になりましたが、卒業生の皆さまの益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げますとともに、これからもご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【ご注意】

本学と関連があることを装った団体からアンケートが届くことがあります。
樟蔭学園(各校)または樟蔭同窓会からの直接のアンケートでない場合は、安易にご回答されないようお願いいたします。

※いただいた個人情報は適正に管理し、本学園の運営目的以外には使用いたしません。

